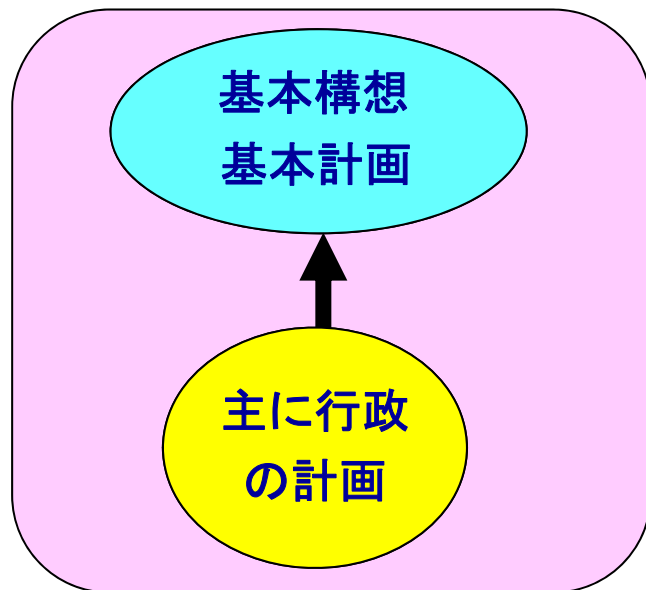


「当事者意識」と「共創」によるまちづくり

＜今までの基本構想基本計画＞



これまでの基本構想・基本計画は、主に行政（市役所）を中心に行うまちづくりの計画という意味合いが強いものでした。



いいだ未来デザイン2028は、行政だけではなく、地域の皆さん一人ひとりの知恵と力を結集させて、「飯田の未来づくり」にみんなでチャレンジしていくための計画（行動指針）として策定します。

「いいだ未来デザイン2028」の構造

基本構想(ビジョン)の実現に向けた2つのアプローチ

H28. 8. 8 飯田市議会次期総合計画
検討委員会 資料No. 1

基本構想

12年間

■キャッチフレーズ: ○○○○○

■未来ビジョン

目指すまちの姿: 8つの「暮らしの姿」「まちの姿」

まちづくりの姿勢: 飯田が持つ可能性を信じて、多様な主体が行動する姿勢

■人口ビジョン[人口展望] 定住人口(2028年) 96,000人 (2045年) 91,000人
滞在人口(2028年) 156,000人 (2045年) 182,000人

基本的方向

4年間

■基本目標

[タイトル]

[戦略(考え方)]

■進捗状況確認指標

戦略計画

1年間

■タイトル・取組内容

戦略-1 ○○○○○ (当事者目標)

戦略-2 ○○○○○ (当事者目標)

<戦略バスケット>

4年間で重点的かつ部局横断的に取り組むもの

事務事業

政策的事務事業

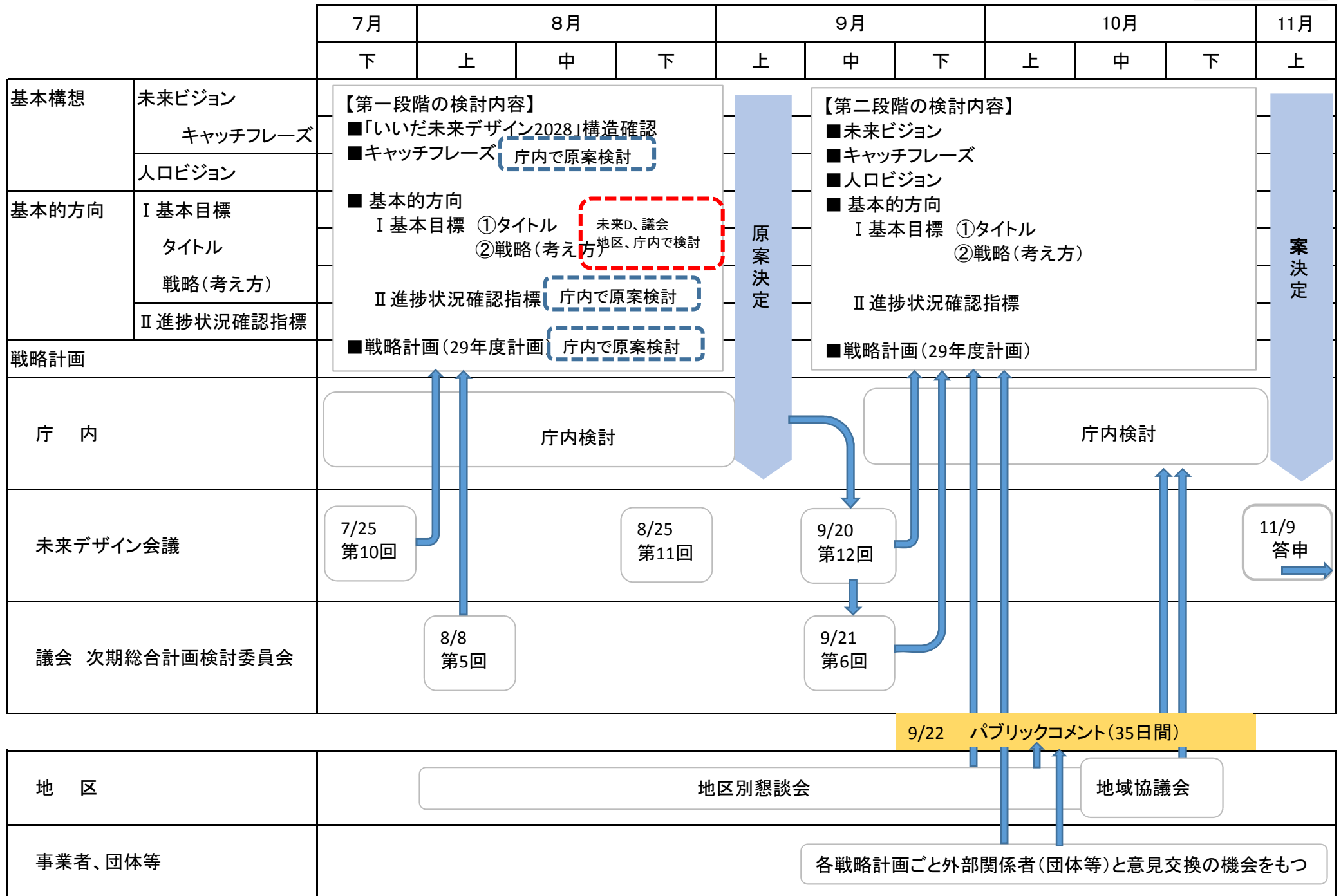
経常的事務事業

■分野別計画・分野別の総合的な取組
必要な分野については、計画を策定する

- ・地域経済活性化プログラム
- ・観光振興ビジョン
- ・21いいだ環境プラン
- ・教育振興基本計画
- ・

分野別かつ総合的に取り組むもの

9/22~パブリックコメント



基本目標がまちの姿の実現に向かっているか、タイトル名や戦略性を持った考え方を確認する。(バックキャスティングで見直す)

8つのまちの姿

私らしい暮らしのスタイルを
楽しむまち

人と人がつながり安全安心
に暮らせるまち

健やかに生き生きと
暮らせるまち

学びあいにより生きる力と
文化を育むまち

地域の応援で子育ての
幸せが実感できるまち

人と自然が共生する
環境のまち

持続的で力強く自立するまち

地域の誇りと愛着で20地区
の個性が輝くまち

飯田のまちづくりの姿勢

～飯田が持つ無限の可能性を信じて、
多様な主体が行動する姿勢～

- 変化の激しい時代を
生き抜く力の源泉「学び」
- グローバル時代に
魅力を放つ価値の創造「交流」
- 新たな課題を解決し
時代を切り拓く「共感」

ムトスの精神
結いの心
自主自立の精神

多様な主体による協働

田園回帰1%戦略

リニアのプラス効果を
最大化する

これらの視点を踏まえて4年間
の戦略性を持った考えをもつ

基本目標

タイトル

戦略(考え方)

- 1 若者が帰ってこられる産業をつくる
- 2 飯田市への人の流れをつくる
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を
かなえる
- 4 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしを
おくる
- 5 「市民総健康」と「生涯現役」をかなえる
- 6 共に支え合い、自ら行動する地域福祉
を充実させる
- 7 地育力がささえる学び合いで、生きる力
をもち、心豊かな人材を育む
- 8 災害に備え、社会基盤の強化し、防災
意識を高める
- 9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合
いながら、交流する
- 10 自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文
化をつくりだす
- 11 地域資源を有効に活用して地域産業を
守り、その価値を高めるとともに、地域
経済を循環させる

進捗
状況
確認
指標

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木
- ・人形劇 ・ネケイダ
- ・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋
- ・しゃくなげの会
- ・体験教育旅行 ・つどいの広場

これからの4年間で
暮らしを豊かにする
「飯田ならできる、
飯田だからできる」
仕組み（価値）をみ
んなでつくっていく

世界に届く価値

（リニア将来ビジョン）

グローバル化
⇒小さな世界都市へ

地域ブランドの確立
⇒多機能高付加価値都市圏へ

戦略計画バスケット及び事務事業の状況

資料 No.2-1

- ・基本目標ごとにマネジメントリーダーを置く。
- ・マネジメントリーダーを中心に「戦略計画」(庁内案)を組み立てる。

8つのまちの姿

私らしい暮らしのスタイル
を楽しむまち

人と人がつながり安全
安心に暮らせるまち

健やかに生き生きと
暮らせるまち

学びあいにより生きる力と
文化を育むまち

地域の応援で子育ての
幸せが実感できるまち

人と自然が共生する
環境のまち

持続的で力強く自立する
まち

地域の誇りと愛着で20地
区の個性が輝くまち

まちづくりの
姿勢

学び

交流

共感

実現

基本的方向

基本目標

	担当部局	タイトル	戦略(考え方)	事務事業数
1	産業経済部	若者が帰ってこられる産業をつくる		23
2	産業経済部	飯田市への人の流れをつくる		60
3	健康福祉部	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		54
4	市民協働環境部	豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる		37
5	健康福祉部	「市民総健康」と「生涯現役」をかなえる		41
6	健康福祉部	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる		41
7	教育委員会	地育力がささえる学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む		67
8	建設部	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める		45
9	市民協働環境部	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する		27
10	教育委員会	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす		29
11	産業経済部	地域資源を有効に活用して地域産業を守り、その価値を高めるとともに、地域経済を循環させる		43

進捗状況確認指標

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒ 飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

私らしい暮らしのスタイルを楽しむまち

- 都会との時間距離が大幅に短縮され、豊かな自然環境や文化の中で、都会での仕事と飯田市での農ある暮らしを両立し、質の高い地域コミュニティの中で自分の存在意義を感じながら、家庭や地域も大事にしていける「私らしい暮らしのスタイル」をつくって楽しんでいる。
- 日常生活文化圏を共有している南信州地域や三遠南信地域などの広域的な地域連携の取組が進み暮らしやすさを実感している。
- 国内外からの移住者が増え、その一人ひとりが社会の一員として積極的に地域活動に参加し、交流している。
- 中心拠点、広域交通拠点、観光拠点がつながり、住む人をやさしく包み、国内外から来る人をあたたかく迎え入れている。

基本的方向（基本目標）

飯田市への人の流れをつくる

豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる

個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する

戦略（考え方）

<参考>

- ・視察の多さを生かしたまちづくり（先進的な取組を磨き、学びの場をつくる）
- ・多様な市民がそれぞれのライフスタイルで暮らせるインフラ整備
- ・「ベースの仕事＋農業＝生活の自立」という提案と農地法の改正

<キーワード>

都会との時間距離が大幅に短縮・・・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道

豊かな自然環境や文化・・・段丘、棚田、南アルプス、森林資源

飯田市での農ある暮らし・・・伝統野菜、多品種生産、果樹、体験教育旅行、ワーキングホリデー

質の高い地域コミュニティ・・・結い、公民館、多文化共生

南信州地域や三遠南信地域などの広域的な地域連携の取組・・・定住自立圏、SENA

中心拠点、広域交通拠点、観光拠点がつながり・・・拠点間連携

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木 ・人形劇・ネクターイダ
- ・つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋 ・しゃくなげの会・体験教育旅行 ・つどいの広場

これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならで、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなでつくっていく

具体的な戦略（考え方）の検討

飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）

戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

人と人がつながり安全安心に暮らせるまち

- 災害に強い社会基盤の確保と、最悪のシナリオの予測と備えにより、市民の生命、財産が守られている。
情報通信基盤の安定的な整備と飯田の強みである人と人とのつながりにより地域の中で一人ではないと実感し、穏やかに安心して暮らしている。

基本的方向（基本目標）

災害に備え、社会基盤を強化し、
防災意識を高める

共に支え合い、自ら行動する地
域福祉を充実させる

戦略（考え方）

- ＜参考＞
- ・ ボランティアセンターの構築
 - ・ 組合未加入者などを視野に入れた緩やかなつながりの構築（緩いつながりで地域と関わっていける段階的な制度の設立）

＜キーワード＞

災害に強い社会基盤の確保・・・地域防災計画
人と人とのつながり・・・コミュニティ

事例（現在あるもの）

- ・ りんご並木 ・ 人形劇・ネクセイダ
- ・ つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・ おひさま進歩 ・ 寺子屋 ・ しゃくなげの会・体験教育旅行 ・ つどいの広場



これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならではの、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなでつくっていく



具体的な戦略（考え方）の検討
飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）



戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

健やかに生き生きと暮らせるまち

- 多世代の交流のつながりや一人ひとりの知恵や力を生かせる緩やかで程よいコミュニティにより、社会と関わり地域に貢献しながら、支えられ、見守られ、生涯を通じて自分らしい健康な生活を送っている。
- 市民、民間事業者、行政のつながりによる「介護、福祉、医療の連携体制」が整備され、高齢になっても安心した暮らしを送っている。

<キーワード>

多世代の交流のつながり・・・公民館、地域自治組織、結い
緩やかで程よいコミュニティ
自分らしい健康な生活・・・地域健康ケア計画
「介護、福祉、医療の連携体制」・・・地域包括ケアシステム

基本的方向（基本目標）

「市民総健康」と「生涯現役」
をかなえる

共に支え合い、自ら行動する
地域福祉を充実させる

戦略（考え方）

- <参考>
- ・ 都会から福祉や介護の従事者を確保する
 - ・ 組合加入の促進
 - ・ 緩やかなコミュニティとしてどこかで繋がりをもつ仕組みづくり

事例（現在あるもの）

- ・ りんご並木 ・ 人形劇・ネスクイダ
- ・ つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・ おひさま進歩 ・ 寺子屋 ・ しゃくなげの会・体験教育旅行 ・ つどいの広場

これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならで、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなで作っていく

具体的な戦略（考え方）の検討

飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）

戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

学びあいにより生きる力と文化を育むまち

- 一人ひとりの好奇心に対応する様々な学びの場に多くの老若男女が集い、自分や地域の将来を考える活動に関わっている。その姿に学び、子どもたちもまちづくりに積極的に提案・行動し、社会の一員として地域に貢献している。
- 飯田の学びの伝統を生かした人づくりにより、地域に誇りを持った人材が飯田や世界を舞台に活躍している。
- 人形劇や伝統芸能に様々な立場に関わる人の想いが地域につながりを産み、文化活動を大切にする心が世代を超え受け継がれている。

<キーワード>

様々な学びの場に多くの老若男女が集い・・・公民館
飯田の学びの伝統・・・人間力を育む風土、自発的な学びの精神
人形劇や伝統芸能・・・いいだ人形劇フェスタ、獅子舞、まつり

基本的方向（基本目標）

地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む

自然と歴史を守り活かし伝え、
新たな文化をつくりだす

戦略（考え方）

- <参考>
- ・学校との連携による飯田型コミュニティスクールの設立
 - ・歴史クラブなど学校での地域学習やクラブ活動の充実

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木 ・人形劇・ネケイダ
- ・つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋 ・しゃくなげの会 ・体験教育旅行 ・つどいの広場

これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならできる、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなでつくっていく

具体的な戦略（考え方）の検討

飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）

戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

基本的方向（基本目標）

戦略（考え方）

地域の応援で子育ての幸せが実感できるまち

- 豊かな自然や文化、特色のある充実した教育や充実した医療のある環境の中で、親が子育てに自信を持ち、地域もみんなで子育て・子育てを見守り、支え、応援し、地域に子どもの笑い声が広がっている。
- 子育てと仕事の両立支援により、保護者が安心して就労できる環境が整備され、家族みんなが、いつも朗らかに暮らしている。

若い世代の結婚・出産・子育て
の希望をかなえる

若者が帰ってこられる産業を
つくる

<参考>

- ・若い世代が気軽に参加できる出会いの場の確保
- ・女性を配慮できる事業所を地域ぐるみで支える仕組みづくり
- ・男性の働き方の提案

<キーワード>

特色のある充実した教育・・・小中連携・一貫連携教育、地育力

充実した医療・・・包括医療協議会、市立病院、かかりつけ医

地域もみんなで子育て・子育てを見守り、支え、応援し・・・放課後子ども教室

子育てと仕事の両立支援・・・ワークライフバランス

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木 ・人形劇・ネケイダ
- ・つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋 ・しゃくなげの会 ・体験教育旅行 ・つどいの広場

これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならで、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなでつくっていく

具体的な戦略（考え方）の検討

飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）

戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

人と自然が共生する環境のまち

- 一人ひとりが身近にある豊かで貴重な自然の恵みを実感し、市民自らが考え、行動する環境活動によって、地球にやさしい暮らしを実践している。
- 気候変動の影響による自然災害、生態系全般への影響、健康への被害、農作物への影響を緩和し、適応していく取組が進んでいる。

<キーワード>

豊かで貴重な自然の恵み・・・環境文化都市、環境モデル都市
市民自らが考え、行動する環境活動・・・分権型エネルギー自治、地域環境権

基本的方向（基本目標）

豊かな自然と調和し、低炭素な
くらしをおくる

「市民総健康」と「生涯現役」を
かなえる

戦略（考え方）

- <参考>
- ・20 地区を対象に「環境モデル地区」を認定する
 - ・ごみゼロ運動など環境活動への子どもの参画を推進する

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木 ・人形劇・ネクターイダ
- ・つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋 ・しゃくなげの会・体験教育旅行 ・つどいの広場



これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならでき、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなで作っていく



具体的な戦略（考え方）の検討

飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）



戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

基本的方向（基本目標）

戦略（考え方）

持続的で力強く自立するまち

- 多様な産業の発展とともに新産業の創出や地域産業の高付加価値化への挑戦を応援し、世界に発信できる地域ブランドがつくられている。
- 特色ある地域産業の発展により、若者の地元回帰や定着化が進み、地域産業の担い手として飯田を舞台に活躍している。
- 「人的ネットワーク」をベースにした「知の拠点」で、様々な研究開発が行われ、国内外に新たな価値を発信している。

若者が帰ってこられる産業をつくる

地域資源を有効に活用して地域産業を守り、その価値を高めるとともに、地域経済を循環させる

＜参考＞

- ・夫婦の働き方を同時に提案することによる他地域との差別化
- ・身近な地域課題を起点としたソーシャルビジネス、コミュニティビジネスへの支援
- ・飯田に帰ってきたら全額免除する奨学金制度の設立

＜キーワード＞

新産業の創出・・・航空宇宙産業

地域産業の高付加価値化・・・地域経済活性化プログラム、6次産業化、新産業クラスター

地域ブランド

特色ある地域産業・・・地場産業（水引、地酒、市田柿、半生菓子など）

知の拠点

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木 ・人形劇・ネクセイダ
- ・つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋 ・しゃくなげの会 ・体験教育旅行 ・つどいの広場



これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならでき、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなでつくっていく



具体的な戦略（考え方）の検討
飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）



戦略計画へ反映

「8つのまちの姿」の方向性（飯田らしさ）の整理

下線部分⇒飯田の（強み、資源、ポテンシャル、まちづくりの姿勢「学び」・「交流」・「共感」）

8つのまちの姿

地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝くまち

- 地域固有の自然や文化が持つ価値をみんなが認め合い、それらが大切に保存継承され、地域づくり、人づくりにも活かされている。
- 地域を思う気持ちを大事にして、自分の住む地域に誇りと愛着を持ち続けることで、地域の価値が再発見され、個性となる。
- その一つひとつの個性を大切に互いに高め合いながら、飯田の魅力に磨きをかけている。

<キーワード>

地域固有の自然や文化・・・多様性、個性

自分の住む地域に誇りと愛着を持ち続ける・・・地育力、地区基本構想

基本的方向（基本目標）

個性を尊重し、多様な価値観を
認め合いながら、交流する

自然と歴史を守り活かし伝え、
新たな文化をつくりだす

戦略（考え方）

<参考>

- ・各地区のお祭りを活用した世代間交流の促進（小地区ごとに事業を行い人を集める）
- ・各地区で「田園回帰1%戦略」を展開する

事例（現在あるもの）

- ・りんご並木 ・人形劇・ネスクイダ
- ・つどいの広場・小水力発電（上村PJ）
- ・おひさま進歩 ・寺子屋 ・しゃくなげの会 ・体験教育旅行 ・つどいの広場



これからの4年間で暮らしを豊かにする「飯田ならできる、飯田だからできる」仕組み（価値）をみんなで作っていく



具体的な戦略（考え方）の検討
飯田の強みを活かした新たな取組
地域を取り巻く課題への対応策
他分野との連携による新展開
（※参考 飯田市版総合戦略）



戦略計画へ反映